

富士通 NetCOBOL

READ/WRITE 文で Btrieve ファイルへのアクセスサンプル プログラム

2021年4月

株式会社エージーテック

COBOL ファイルシステムを使用するか、Btrieve ファイルシステムを使用するかは、ファイル管理記述項の ASSIGN 句の記述によって決まります。

例：

```
SELECT file-1 ASSIGN TO "READWRITE_SAMPLEDATA.MKD,BTRV"
```

上記の設定変更で、デフォルトの COBOL ファイルシステムの代わりに Actian Zen の Btrieve データファイルを使用することができ、富士通 NetCOBOL 言語内から順ファイルおよび索引ファイルとして Btrieve ファイルを利用できます。詳細は『FUJITSU Software NetCOBOL ユーザーズガイド』の「7.9.1 Btrieve ファイル」を参照して下さい。

気をつけなければならないのは、Btrieve と富士通 NetCOBOL では、数値データの保存方法が異なるということです。そのため、数値データを使用している場合、Btrieve ファイルへデータを書き込みする直前に NetCOBOL の内部形式から Btrieve ファイルで扱う形式（88コンソーシアム形式）へ変換します。データを Btrieve ファイルから読み込んだ直後は、その反対の変換 Btrieve ファイルで扱う形式（88コンソーシアム形式）から NetCOBOL の内部形式へ変換します。その変換を簡単に行うために、富士通 NetCOBOL には次の関数が用意されています。

- ・ 88コンソーシアム形式から NetCOBOL の内部形式への変換

```
CALL "#DEC88TOFJ" USING [BY REFERENCE] 一意名
```

- ・ NetCOBOL の内部形式から 88コンソーシアム形式への変換

```
CALL "#DECFTO88" USING [BY REFERENCE] 一意名
```

詳細は『FUJITSU Software NetCOBOL ユーザーズガイド』の「7.9.1.2 外部10進項目のデータ形式変換」を参照して下さい。

本サンプルプログラムでは、上記の変換サブルーチンを使用して、単純なインデックス付きの Btrieve ファイルを作成し、そこに数値、10 進数、テキストデータを挿入し、そのデータを富士通 COBOL 内に読み戻すことを示します。

今回のサンプルプログラムは Btrieve のインタフェースしか使用していませんが、サンプルプログラムが作成する Btrieve ファイル（READWRITE_SAMPLEDATA.MKD）を SQL 経由でアクセスするために、同じフォルダー内にデータベースを作成した後、下記の SQL 文をそのデータベースに対して実行すると、SQL アクセスが可能となります。

```
SET TRUENULLCREATE = OFF;

CREATE TABLE "READWRITE_SAMPLEDATA" IN DICTIONARY USING 'READWRITE_SAMPLEDATA.MKD' (
    "mainkey" NUMERIC(5,0) NOT NULL,
    "numericdata" NUMERIC(5,0) NOT NULL,
    "comp3data" DECIMAL(5,0) NOT NULL,
    "textdata" CHAR(50) NOT NULL);

SET TRUENULLCREATE = ON;

CREATE UNIQUE NOT MODIFIABLE INDEX "インデックス0" IN DICTIONARY ON "READWRITE_SAMPLEDATA" (
    "mainkey" );
```

※本書は情報提供のみを目的としており、本書の内容、提供のサンプルの使用において、明示的あるいは非明示的ないかなる保証もいたしません。

※著作権上の権利に限定されることなく、本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

※本書の内容は、2021 年 3 月現在のものです。また、予告なく変更する場合があります。

※NetCOBOL は富士通株式会社の登録商標です。

※Actian、Actian DataCloud、Actian DataConnect、Actian X、Avalanche、Versant、PSQL、Actian Zen、Actian Director、Actian Vector、DataFlow、Ingres、OpenROAD、および Vectorwise は、Actian Corporation およびその子会社の商標または登録商標です。本資料で記載される、その他すべての商標、名称、サービス マークおよびロゴは、所有各社に属します。

(C) Copyright 2021 AG-TECH Corp. All rights reserved.

株式会社エージーテック

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町 1-21-1 ヒューリック神田橋ビル 3F